

2011-B					
拠出金・基金の名称:		国連人間居住財団拠出金(アフガニスタン)			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 国連人間居住計画 (UN-HABITAT)					
【所管官庁担当局課・室名】: 外務省国際協力局地球規模課題総括課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 都市連帯事業: コミュニティ主体の帰還民・国内避難民の再定住事業。マザリシャリフ・バーミヤン、ヘラートにおいて、コミュニティ協議会を中心とした帰還民や国内避難民の居住区の基本コミュニティ・インフラやサービスの改善を行い、帰還民や国内避難民の再定住を支援するとともに、地域の安定に寄与する。同時に、自治体のインフラ・居住地の制度整備、土地や建物の登記による資産税等の徴収を通じた自治体の運営能力の強化や職員の能力開発を実施する。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成23年度	445,000	5,000	-	1ドル = 89円	100%
平成22年度	-	-	-	-	-
平成21年度	-	-	-	-	-
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 本事業のコミュニティインフラ改善を通じて、マザリシャリフとヘラートの約16,000世帯(約10万人)の生活が改善した他、ヘラートでは、土地や建物の登記が進み、自治体の税収入増加による住民への継続的な基本サービスの提供が可能になった。また、3都市に市役所を建設し、帰還民や国内避難民への再定住促進に向けた自治体の役割強化のための環境を整えることが出来た。事業終了済み。					